

Ⅱ 景観形成の目的・意義と今後の景観構造の考え方

1 景観形成の目的・意義と景観構造の考え方（たたき台）

（１）景観形成の目的・意義

- ・近年、市域での土地利用の変化や更新が活発化する中、地形などの大きな環境要素や市街地の大きな類型はかわらないものの特徴あるまちなみの形成などにより市域内の景観はその姿を変えつつある。
- ・また、成熟社会を迎える中で都市間競争を勝ち抜くため、都市格や都市の魅力を向上することで都市の価値を高めていくことが不可欠であり、そのためには都市戦略として、都市のアイデンティティを確立していくことが求められる。
- ・一般に、都市における景観形成は、来訪者が抱く都市イメージをより高め、あわせて市民のわがまちに対する愛着と誇りを高めることによって都市のアイデンティティを確立し、都市の価値を高めていくことなどを目指している。また、景観形成の意義としては市民生活の質の向上や経済的効果などが挙げられている。
- ・さらに、より特化した景観形成の目的を設定し、その都市らしい特色のある景観形成を目指している都市もある。
- ・こうした中、本市の現行の景観計画では「アメニティと美しさに満ちた大阪らしい都市景観をつくる」ことを目標としているが、今後、本市としての景観形成の目的や意義をより明確にするとともに、それを踏まえ景観特性が明確な地域の重点化を図るような景観構造の捉え方が必要ではないかと考える。

例）「大都市の風格の向上」「観光魅力の向上」「住宅地のグレードの向上」「都市の付加価値の向上」
・・・等、

○景観形成の目的・目標についての記載例

東京都景観計画	（新しい景観形成の必要性） …これからの東京の都市づくりでは、かつて、 国外からの来訪者が賞賛したような美しい景観 を取り戻すとともに、成熟した都市にふさわしい落ち着きや風格、新しい魅力を創出していかねばならない。
横浜市	（良好な景観の形成に関する方針） みなとの情景の演出／歴史の継承／“島”としての個性の選出
札幌市	（良好な景観形成を図る意義） 生活の豊かさの向上／地域への愛着や誇りの醸成／経済の活性化／地域の相対的価値の向上
京都市景観計画	（基本方針） …京都の個性や魅力の源泉は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。この優れた京都の景観を「守り」「育て」「創り」そしてこれを「活かして」いくことにより、 わが国を代表する「京都ブランド」 をより確固たるものにし、 都市の品格と魅力 といった付加価値を高めていかねばならない。
仙台市景観計画	（景観形成の基本方針） 「杜の都」の風土に生まれ、長い時間をかけて形成された仙台固有の美しい景観は、市民共有の財産であり、将来にわたって保全・創生していく必要がある。本市は今後も「杜の都」の 魅力を高め、風格ある都市を目指し、…
鎌倉市景観計画	（鎌倉らしさと都市景観の形成） …この鎌倉のまちに古くから伝わる「作法」や「流儀」をもう一度見直し、先人達が永年にわたり豊かな自然環境の中で守り、育て、つくりあげてきた 鎌倉らしい都市景観 を、より魅力的で快適なものへと高めていくことが必要だと考えています。
真鶴町景観計画	（目標（ビジョン）） 真鶴町の海に『夜光虫』を蘇らせ、町に 美しく豊かな眺め を創造する。

（２）景観構造の考え方の例

①線的要素及び点的・界限的要素と視点場

- ・景観特性が明確で、広域あるいは地域の骨格となっている線的な要素を位置付けるとともに、周辺から特化して明確な特徴を持つ点的・界限的な景観要素を位置付け、めざすべき目的に即した、重点的な景観形成を誘導していくことが考えられる。
- ・また、特徴的な中・遠景が眺望できる場合には、これらの視点場を意識した景観形成を図っていく必要があるのではないかと考えられる。

②ゾーンの考え方の取扱い

- ・従来から景観ゾーンとして位置付けられてきた広範囲の面的なゾーニング（景観ゾーン）については、実際には様々な景観特性の市街地が混在し、全域にわたって共有できる景観特性が明確にあるわけではない。
- ・しかし、景観の特徴が明確な景観要素として位置付けることが考えられる市街地の多くは景観ゾーンの中にあり、また多くの視点場も存在している。
- ・このため、特徴が明確な景観要素をいわば「図」として見た場合の「地」となるよう、底上げ的に景観の質を高めていくエリアとして位置付け、まちなみの実態を踏まえつつその範囲を見直していくことも考えられるのではないかと。

○特性が明確な景観要素と視点場の具体例

景観要素	線的要素 （広域あるいは地域の骨格となっている線的な景観要素）		建築美観誘導区域、御堂筋デザイン誘導等区域 等 ……
	点的・界限的要素 （周辺から特化して明確な特徴を持つ界限的・点的な景観要素）	界限的要素	大規模公園とその周辺：大阪城公園、靱公園 等 水辺の界限：中之島、水の回廊 等 ……
		点的要素	主要交通ターミナルとその周辺：大阪駅、難波駅 等 ……
視点場 （特徴的な景観が眺望できる場所）	高低差のある 視点場		上町台地……
	河川に面した 視点場		大川・中之島……
	海に面した視 点場		臨海部

参考 景観計画における景観構造の捉え方の事例



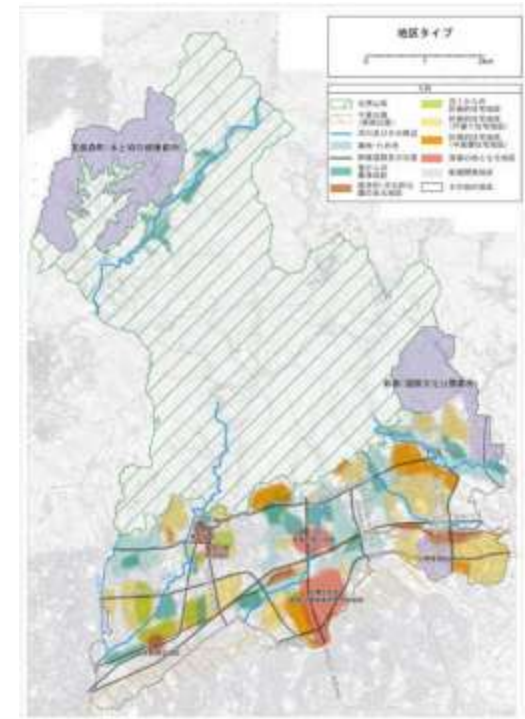
主要な骨格要素を位置付け（東京都）



大まかな地帯構成により区分（堺市）

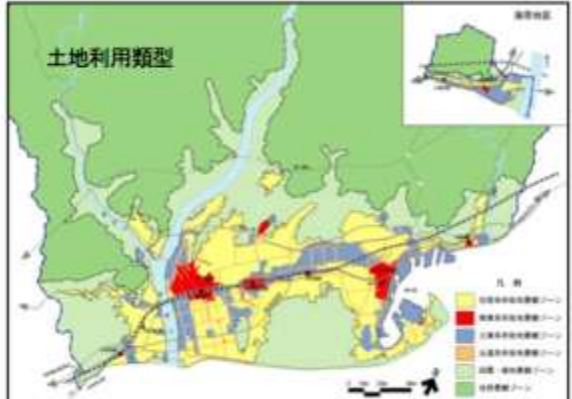
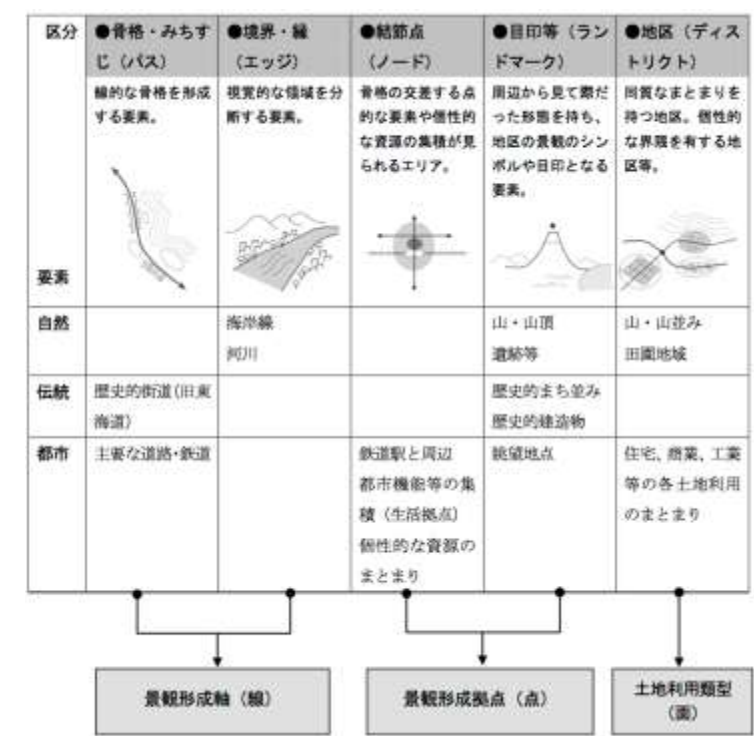


土地利用により区分（仙台市）

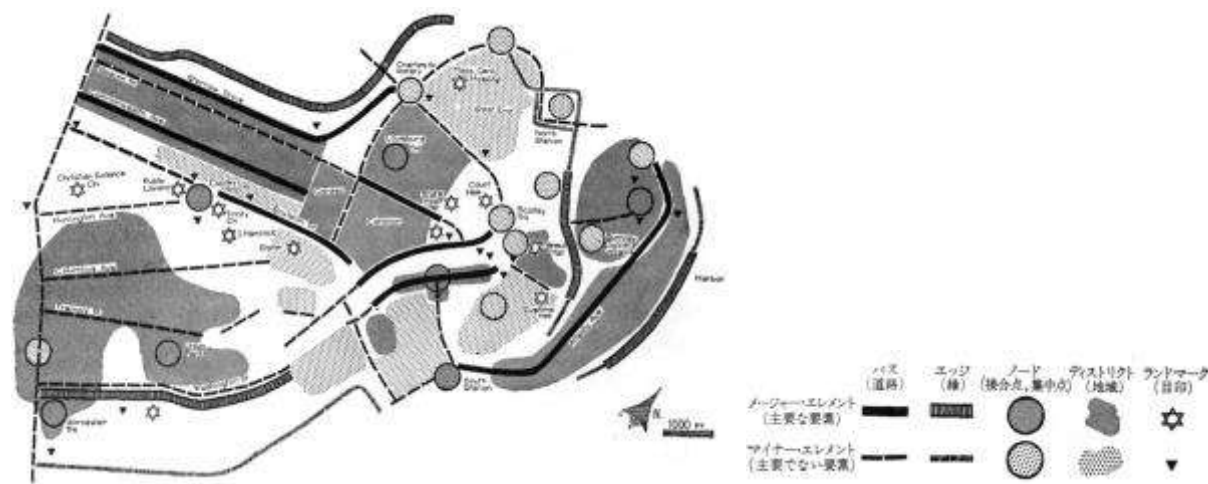


景観特性により区分（筑面市）

参考 都市のイメージの構成要素から景観を構造化している事例



◆静岡市における構造別景観形成の方針 （出典：静岡市景観計画）



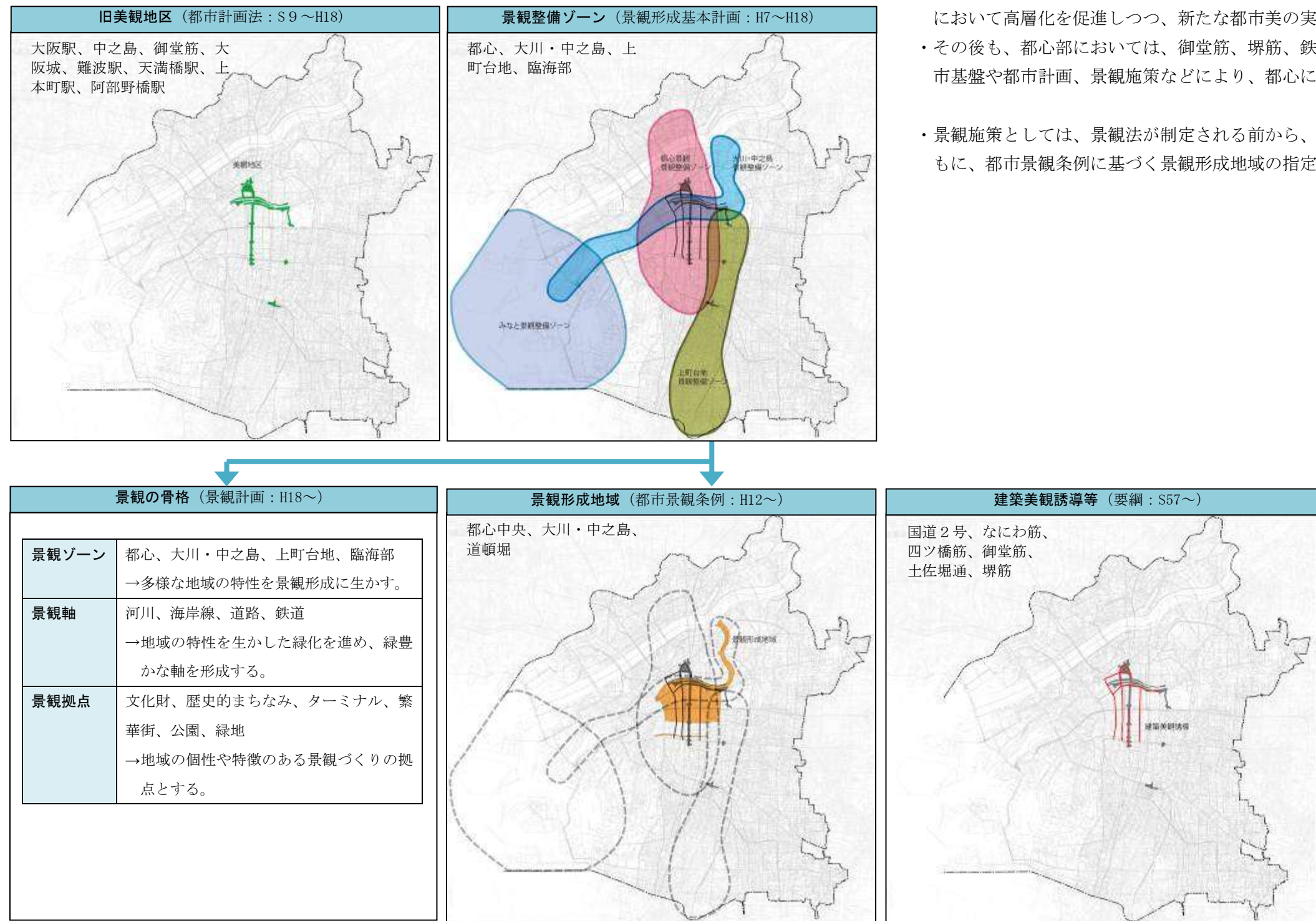
◆ボストンの視覚的形態 （出典：『都市のイメージ』、K. リンチ）

2 現行の景観計画の景観構造の捉え方及び関係する法令等による特定エリアの位置づけ

- ・「大阪市景観計画」（H18）においては、景観施策の前提となる景観構造について、空間要素を面的要素、線的要素、点的要素として捉え、それぞれの要素に対応して「景観ゾーン」「景観軸」「景観拠点」として位置付けている。

- ・なお、現行の景観計画ではこれらの具体的なエリアは明示されていないが、「大阪市景観形成基本計画」（H7）では、「景観整備ゾーン」「景観軸ーみず・みち・みどりー」「景観拠点ーみどり・歴史・にぎわい」から捉えた景観の構造化計画が示されていた。

- ・また、特定エリアでの景観形成への取組みは、戦前の美観地区指定に始まり、美観地区では、都心部において高層化を促進しつつ、新たな都市美の実現をめざしてきた。
- ・その後も、都心部においては、御堂筋、堺筋、鉄道ターミナル駅など近代以降に整備された様々な都市基盤や都市計画、景観施策などにより、都心にふさわしい顔づくりを進めてきている。
- ・景観施策としては、景観法が制定される前から、主要幹線道路を建築美観誘導路線に位置付けるとともに、都市景観条例に基づく景観形成地域の指定を行っている。



3 今後の景観構造の捉え方を検討するに際しての視点

- ・景観は視覚的に捉えられた市街地環境の現れであり、①地形などの大きな環境構造、②市街地の土地利用・構成が反映されている。
- ・現行の「景観計画」もこうした点を踏まえ策定している。

(1) 地形などの大きな環境構造の視点

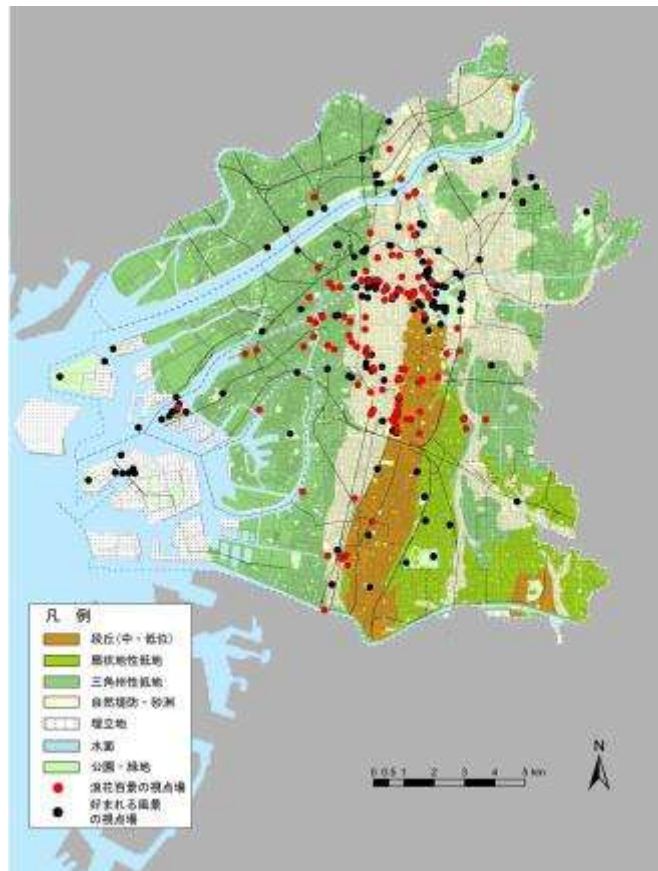
- ・「地域別景観特性調査」(H18.3) では、地形的特性及び水系・緑地の分布特性などから市域の景観構造を構成する骨格要素を捉えるとともに、これらの要素と眺望点（視点場）から景観特性を以下のように分析している。

(景観構造の基盤)

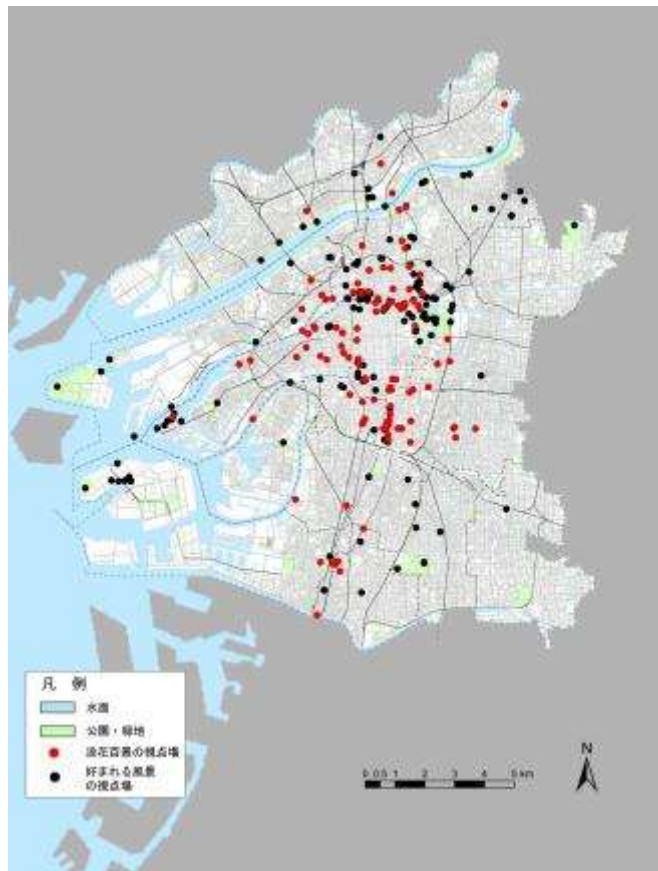
- 上町台地、河川・水路、海、大規模な公園、広幅員街路が市域の景観構造を支える基盤となっている。
- ・地形の起伏を有する上町台地は広域的な都市景観構造上の重要な要素。
- ・淀川や大和川といった一級河川とともに都市河川や水路は大阪を代表する景観形成の重要な要素。
- ・近代以降営造されてきた並木を伴った広幅員街路や大阪城公園、大川沿いの中之島公園などの公園が大都市としての魅力的な要素。

(眺望点)

- 市域の景観構造に影響する眺望点については、景観構造の基盤に多くが存在する。
- ・都心部では大川沿い、中之島周辺、上町台地北端の大阪城周辺、船場地区などに視点場が多く分布。
- ・住居系市街地では路地や都市公園が重要な視点場。
- ・臨海部では水辺の他、超高層建築物や船上などの新たな視点場が出現。



地形的特性と視点場



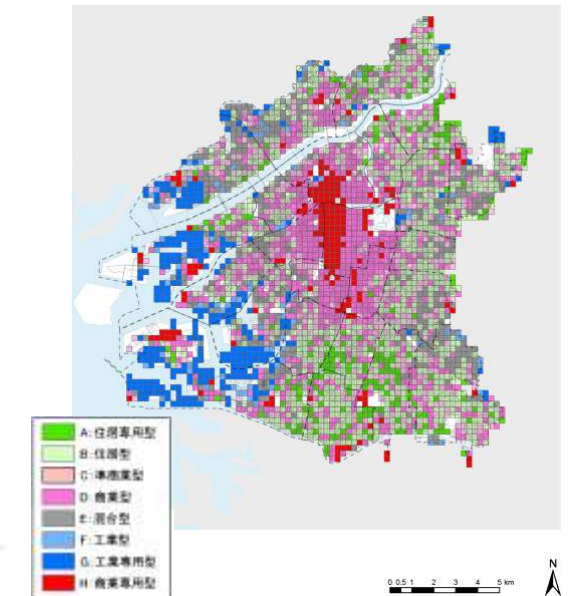
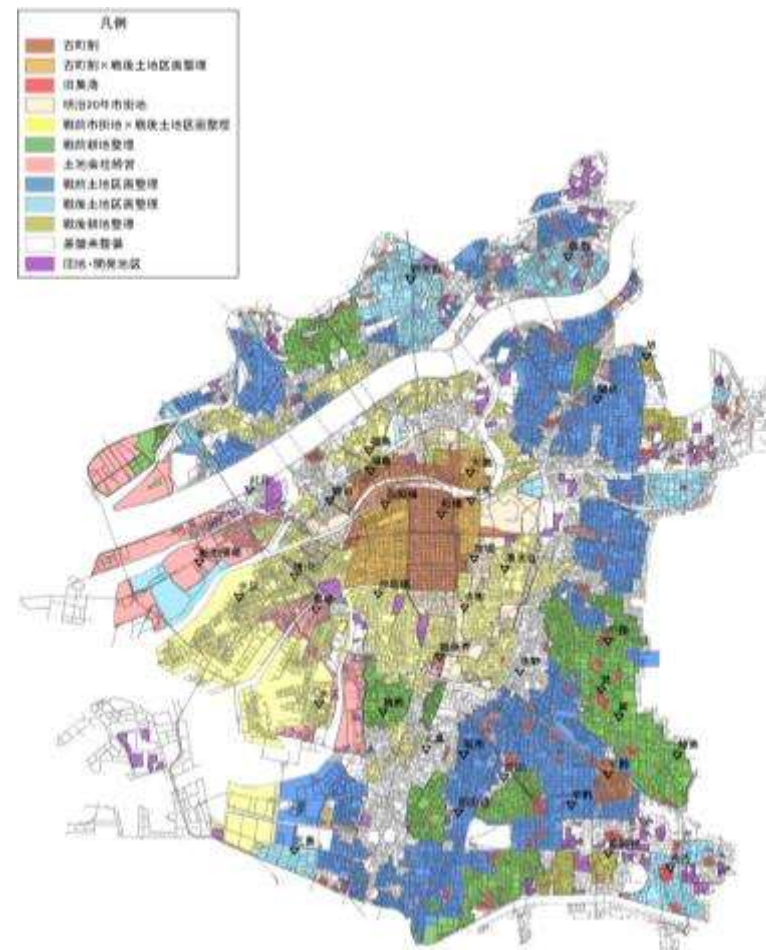
水系・緑地の分布特性と視点場

(2) 市街地の土地利用・構成の視点

- ・市街地の土地利用・構成については、「大阪市景観形成基本計画」(H7) では、土地利用をベースに市域を大きく「都心ゾーン」「臨海ゾーン」「市街地ゾーン」に区分した上で、一般市街地の景観類型が以下のように示されていた。市街地内にはこれらの類型がモザイク状に散りばめられている。

◆市街地景観の類型 (出典：大阪市景観形成基本計画)

都心	臨海	市街地	類型	特徴
	●		低層住宅地景	区画道路の両側に低層の専用住宅が並んでいる景観
●	●	●	中高層住宅地景	中高層の集合住宅が建ち並んでいる景観
●	●		商業地景	商業施設が集中している場所の景観
●			業務地景	歩道や街路樹の整った広幅員の道路沿いに比較的間口の大きい中高層業務ビルが建ち並ぶ一帯
●			業務地裏通り景	幅員が狭い道路に中高層の業務ビルが建ち並び、しばしば圧迫感を感じさせる景観
	●		住工混在地景	低層住宅群と町工場、集合住宅と倉庫などが入り混ざった景観
		●	工業地景	工場や倉庫などの大規模建造物が建ち並んでいる景観
		●	在来港湾地景	周辺に建物が存在していないか、または大規模建物がまばらに存在している景観



土地利用類型 (H18)

- ・「地域別景観特性調査」(H18.3) では、市民が日常生活を営む場の景観を魅力あるものにしていく視点から、その基調となるまちが作られた時代や開発目的を反映した市街地履歴と土地利用に着目し、町割や街区構造の景観への現れ方、土地利用の変化による景観への影響などを分析した上で、市街地を類型化している。